



バンコク便り



1.はじめに

サワディークラップ（こんにちは）！ 私は、先月5月より荘内銀行の提携銀行であるタイ・カシコン銀行に着任致しました齋藤と申します。これからタイ・バンコクを中心に当地目線で分かりやすい情報をお伝えして参りますので、本紙、「バンコク便り」を通じてタイを含むASEAN諸国により魅力を感じて頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します！

2 当地ビジネス情報

①タイ日系企業ビジネス交流会開催

5月19日バンコク市内のホテルにて日本の地方銀行（13行）主催でタイ進出中のお客様を対象としたビジネス交流会が開催されました。全体で約260社300名参加され、参加者からは「この場で新たに取引を希望する企業の方と直にお会いでき、タイムロスなく次に繋がる場所がありありがたい」、「普段からの取引先とも親睦が深められた」等のご感想を頂くなど、銀行の枠を超えたビジネスマッチングや新たなネットワークの構築に繋がりました。



ビジネス交流会懇親会

②THIAFEX-World of Food Asia（タイフェックス）2017開催

5月31日～6月4日の5日間でバンコク北部にて「THIAFEX-World of Food Asia 2017」が開催されました。食品関連企業全般が参加する展示会として、タイだけではなくアジア市場攻略の見本市として、来場者数が約4万人を超える大規模な展示会です。組合など数社が集まりグループで出店する形態も散見される等、他社と連携、協働することで情報を共有しながら参加するスタイルも有効な方策であると感じられました。



タイ水産系企業ブース



ジャパンパシフィック内風景



山形牛ブース（株式会社山形県食肉公社様）

3. 現地トピックス

タイの漁港を視察する機会がありバンコクから車で約6時間、タイランド湾南西部にあるバンサパンという土地に行ってきました。漁師の方に話を聞くため漁村にも行きましたが、その漁村では各世帯が河口沿いのブロック塀で作られたような家に住んでおり、都市部との生活水準の違いに驚きました。漁師の方によると近年タイでは海の環境汚染や乱獲により魚の漁獲高が減っており、国から漁に出る日を規制されているため生活も安定していないとのこと。そのような中でも他の場所も含め、初めて見る日本人を客人として迎え、毎回ミネラルウォーターを振る舞う姿を見て、タイ人の国民性、おもてなしの心を感じることができました。



バンサパンの漁師(写真右)



バンサパン漁港

【本件に関する連絡先】

海外業務部 石井、榎 023-626-9050

バンコク駐在（カシコン銀行ジャパンチームトレーニー）齋藤 +66-(0)6-3206-2823